

興譲館の梅



【学校教育目標】

やさしく、かしこく、たくましく
笑顔の花咲く 桜っ子の育成
～すべては子ども達の自信のために～

令和7年6月18日 文責：校長

成長を感じた6年修学旅行

6月12日(木)、13日(金)の泊2日で、6年生と長崎への修学旅行に行って参りました。出発式で6年生の前に立ったときは、わくわくした目で私を見つめており、とても微笑ましかったです。

我々教員の願いは、

- ① 「平和の心を広げよう」のテーマのもと実際に見て、聞いて、頭にも心にもしっかりとまなびを残すこと
- ② 社会生活のルールやマナーを守り、時と場に応じて考えて行動すること

でした。
初日は朝から雨模様ではありましたが、子ども達は意欲的に活動しました。追悼平和記念館での集会では、厳かな雰囲気各班の「平和宣言 誓いの言葉」を述べていきました。子ども達は真剣に取り組んでいました。

班ごとの原爆資料館の見学では、戦争の悲惨さや悲しさを感じながら、そして学びながら黙々と歩みを進める子どもたちの姿に、長崎に連れてきてよかったと心から思いました。それぞれの子ども達の表情が、学校の中では見られないような真剣な面持ちで見学をしていました。

その後、原爆落下中心地を見学し、平和公園では写真撮影をしました。昼食後、雨が降る中、平和を学ぶフィールドワークに出発しました。山里小学校、如己堂、浦上天主堂、山王神社、一本柱鳥居、坂本国際墓地と、班のみんなで協力しながら回りました。私はゴールの原爆資料館下にいましたが、到着時刻よりもかなり早く到着した班もあり、各所でしっかりと学んできたのかな？と思いました。声をかけたところ、自分たちが見たこと、聞いたことをしっかりと話すことができたので、その学びをほめました。

その後は、原爆資料館平和学習室での平和講話でした。お話をいただいたH様の体験談を聞き、悲しい表情をしている子や今にも泣き出してしまいそうな子もいて、どの子もしっかりと話に聞き入っている姿が印象的でした。そして、H様から、子どもたちへの3つの願いを話されました。

- ・自分や友達のかけがえのない命を大切にすること
- ・差別をしない、いじめをしないこと
- ・何かあったら話し合いで解決すること

メモをする子やうなずく子どもも多く、子ども達の心に響いたことを感じました。

二日目は、長崎歴史文化博物館の見学を終え、歴史を学ぶフィールドワークに出発しました。ちょうど雨もやみ、フィールドワーク日和となりました。眼鏡橋、中華街、出島資料館、長崎県美術館、オランダ坂、大浦天主堂、グラバー園、軍艦島デジタルミュージアムと、長崎の街を満喫していました。途中、水辺の森公園で昼食予定でしたが、雨上がりだったため地面のコンディションが十分ではなく、また急激に気温も上昇したことから、エアコンが効くバスの中で昼食をとらせました。ゴールは四海樓前の広場でしたが、どの班も集合時間より少し早めに到着しました。とても良かったです。

帰る途中に2号車バスの車両トラブルがありましたが、代わりのバスを手配し、そのバスに乗り換えて帰校しました。保護者の皆様にはご心配をおかけいたしました。

さて、小学校に着き、帰校式で子ども達の前に立ちました。するとどうでしょう。出発式の時とは打って変わり、子ども達それぞれの表情に充実感というか何かを成し遂げたような雰囲気が感じられました。確かにこの二日間は天候がよくなかったのですが、そんな中でもがんばりきった子ども達。その充実感に満ちあふれている一人一人の顔がとても素敵でした。思わず涙が出そうでした。

この二日間で学んだ平和や歴史のことだけでなく、時間を守ること、友達を思いやること、自分勝手な行動をしないこと、人に尋ねるときは言葉遣いを意識すること等いろいろなことを学んだ修学旅行だったことと思います。これからの学校生活に生かしてほしいと思いました。

保護者の皆様には、弁当や持ち物の準備等ご協力いただきありがとうございました。皆様のおかげをもちまして充実した修学旅行になりましたこと、心より感謝を申し上げます。